

成長投資と同じく **今でしょ** ヒト(社員)へも投資を!

「2020年度期末決算」では～大幅な赤字

対前年比 **減** 単体⇒▲5,086億円・連結⇒▲5,779億円

「2021年度設備投資計画」では～潤沢な資金

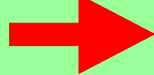
対前年比 **増** 単体⇒6,740億円・連結⇒5,510億円

国労東日本本部は5月14日、2021年度夏季手当「2.5ヶ月＋コロナ手当(医療社員5万円・一般社員3万円)」の要求を提出しました。

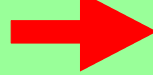
昨年の夏季手当では2.4ヶ月(▲0.51ヶ月)、年末2.2ヶ月(▲0.98ヶ月)、さらに今年の賃金回答では、初めて定期昇給切り下げの「昇給係数2」という社員犠牲を強行し、社員・家族から落胆の声が聞こえています。仕事でのやりがいを失いたくもなりますが、現場の社員・グループ会社社員は指定公共機関としての使命を懸命に果たしています。

将来への設備投資は否定しませんが、設備関連と同様「社員への投資」を行うことも、全ての社員・家族が熱望しています。

コロナ
感染防止



人流抑制



業績悪化



社員への
犠牲!?